

プログラム

開会挨拶 13:00-13:05 竹村明洋 (琉球大学)

趣旨説明 13:05-13:10 武方宏樹 (琉球大学)

口頭発表【13:10～14:55】

O-01 13:10-13:25

亜熱帯に生息する昆虫の季節適応機構

○武方宏樹 (琉球大学・研究推進機構)

O-02 13:25-13:40

データ駆動型ゲノム育種(デジタル育種)に向けた非モデル生物のゲノム配列解読 ～昆虫を例に～

○梶浩平、坊農秀雅 (広島大学・統合生命科学研究科)

O-03 13:40-13:55

環境 DNA で読み解く魚類生態と多様性

○村上弘章 (東北大学大学院・農学研究科)

O-04 13:55-14:10

海洋中の溶存無機炭素の有効利用による微細藻類の増殖促進

○村田智志、横井佑果、辻朋夏、花田晶子、明戸剛、新垣篤史、田中剛
(東京農工大学・工学府)

休憩 14:10-14:20

O-05 14:20-14:35

赤潮対策としての潮流シミュレーションの解析

○GARCIA NOVO PATXI、坂口大作 (長崎大学・海洋未来イノベーション機構)

O-06 14:35-14:50

農業廃棄物の新規循環利用: 稲わらと家畜糞尿から単細胞タンパク質飼料への産生

○徐天祥、数田ゆい、黒岩恵、利谷翔平、寺田昭彦 (東京農工大学・工学府)

O-07 14:50-15:05

ライフサイクルアセスメントによる技術比較: 蓄エネルギーシステムの例

○山木亜由美 (東京大学・未来ビジョン研究センター)

中絶挨拶 15:05-15:10

休憩 15:10-15:30

ポスター発表【15:30～16:30】

P-01 Applicability of AI/IoT in systems transformation: Findings from case studies of wastewater

○Jiayuan Ji, Yuichiro Kanematsu, Yasunori Kikuchi
(The University of Tokyo・Institute for Future Initiatives)

P-02 微生物発酵による「高付加価値品」の開発

○中村彰宏、佐藤里佳子、鈴木義之、志田洋介、高久洋暁、小笠原渉
(長岡技術科学大学・技術科学イノベーション系)

P-03 水稻栽培のための資源循環型堆肥開発

○志田洋介、幡本将史、成廣隆、黒田恭平、富田駿、小林ひかり
(長岡技術科学大学・物質生物系)

P-04 水田内除草を担う小型自律制御ロボットの開発

○滝本祐也、永沼光星、中脇匠悟、中山忠親 (長岡技術科学大学・機械系)

P-05 有機農法による水田微生物叢ダイナミクスの長期的評価

○山崎真一、二川倫、大峽広智、能勢結衣、志田洋介、小笠原渉、市橋泰範
(理化学研究所・環境資源科学研究センター)

P-06 持続可能な農業に向けた植物由来生分解性ポリマーの土壌利用研究

○小塚俊明、王昊、Romain Milotskyi, Sharma Gyanendra, Abdul Hafeez、西村学、高橋憲司、伊藤正樹 (金沢大学・理工)

P-07 鶏舎内環境パラメータを用いたブロイラーの損失数予測

○牧野良輔・山本博冬・鎌田晴花・喜多一美 (岩手大学・農学部)

P-08 魚骨由来のヒドロキシアパタイトによる重金属類の吸着

○谷中彩寧、末永慶寛、吉田秀典 (香川大学・創造工学部)

P-09 WikiPathways システムを活用した新たなパスウェイ解析環境の開発

○野津了、大石直哉、松本翔太、Alexander R Pico、坊農秀雅
(広島大学大学院・統合生命科学研究科)

P-10 エクソソーム機能解析または高品質魚を生む給餌方法の開発

○山本悠理、平坂勝也 (長崎大学・海洋未来イノベーション機構)

- P-11 **Modulation of Environmental Parameters in RAS: Investigating Spectral Lighting, Salinity, and Temperature Conditions on Malabar grouper Development Metrics**
○Yafan Zhu, Ryugo Negishi, Noa Kuniyoshi, Kodai Fukunaga, Shingo Udagawa, Akihiro Takemura
(University of the Ryukyus・Organization for Research Promotion)
- P-12 **Development of Sustainable Diet for Malabar Grouper (*Epinephelus malabaricus*) Using Okinawan Local Resources**
○Taekyoung Seong, Teruhisa Kojima, Siqi Lu, Makoto Takahashi, Yutaka Haga, Akihiro Takemura
(University of the Ryukyus・Organization for Research Promotion)
- P-13 **環境 RNA を用いた魚類の健康診断手法の開発**
○福永耕大、荻原豪太、吉田美穂、山科英美香、竹村明洋(琉球大学・研究推進機構)
- P-14 **ヤイトハタ養殖排水で培養したアオサからの有用多糖の抽出**
○與那嶺里菜、平塚悠治、吉田勇、吉田美穂、小西照子、竹村明洋(琉球大学・研究推進機構)
- P-15 **海藻生産拠点の社会実装に向けて**
○菅原拓也
(高知大学・次世代地域創造センター)
- P-16 **メタン酸化細菌を用いたバイオガスからのアミノ酸生産**
○藤井一磨、黒岩恵、利谷翔平、寺田昭彦 (東京農工大学・工学府)
- P-17 **ビヨンド・”ゼロカーボン”社会の実現に向けた Co-learning の実践**
○畠山岳大、宮崎文彦、大塚彩美、中村 昭史、谷田川ルミ、栗島英明 (芝浦工業大学)
- P-18 **名古屋大学拠点における未利用熱の徹底利活用に向けた挑戦**
○鎌田慎、長野方星、田中英紀 (名古屋大学・未来社会創造機構)
- P-19 **ナノポーラス金属錯体(MOF)の選択的分子吸着**
○松田亮太郎 (名古屋大学・大学院工学研究科)
- P-20 **変換拠点活動 白馬プロジェクト**
○高田和明、加藤滋、鎌田慎 (名古屋大学・未来社会創造機構)